



TAJ 上級救命講習会 実施報告書

1. 開催趣旨

私たち TAJ は災害ボランティアである以上、一般的な救命法はもちろん発災直後に必要と思われる出血や骨折に対する応急手当や傷病者の搬送法などが学べる上級救命講習を修了することは非常に意義深いと考えたため開催した。

2. 実施要領

日時：平成 24 年 9 月 23 日(日) 午前 9 時～午後 6 時

開催場所：茅ヶ崎市社会福祉協議会 二階会議室

参加者：別紙参照 講習内容：別紙参照

3. 本企画の評価

- ◆ 講習内容は丸一日かけただけの事もあり有意義に感じた。特に救命措置そのものもさることながら、周囲の人々にいかに助力を求めるかが重要と考える。
- ◆ TAJ の受講者は積極的かつ意欲的に講習に臨んでいた。
- ◆ 当初定員 25 名で受講の予定であったが講師側の都合により 20 名(最終的に 17 名)での受講となった。実際に開催したところ会場の広さはぎりぎりであった。
- ◆ 本来、消防本部に講習を依頼し開催する計画だったが、上級救命講習は本部主催の講習に参加する以外には開催できないことが分かった。このため講師個人の主催というイレギュラーな形での開催となったために、講習機材の準備や修了証の誤字などに不手際があった。
- ◆ 本講習は 2 年に一度の再講習が薦められている。また一回に 20 名前後の受講が限界であるため、年に一回の定期開催が望ましいと考える。
- ◆ 開催場所の案内にあいまいな点があり、受講者を戸惑わせてしまった。

4. 次回の課題

- ◆ 必要なスペースを正確に把握した会場の選定。
- ◆ 消防本部主催(講師手配)の要望。
- ◆ 会場案内の徹底。

5. 参加者

- ◆ 講師 4 名 一柵晃伸氏 森田弘治氏 三橋幸夫氏 小野間圭一氏





◆ 受講者 17名

池田孝, 鈴木宏行, 金井正道, 金井菜穂子, 久我真, 小宮山伴, 小澤美江,
佐々木里子, 田中一樹, 飯田華奈, 細谷一彦, 平野努, 平野三恵子, 関口征男,
古川彌, 小野間亜妃子, 小野間博

◆ 講習内容

9:00~9:05	5分	挨拶、指導員自己紹介、オリエンテーション等
9:05~9:15	10分	応急手当の目的、必要性説明
9:15~10:40	85分	心肺蘇生法(成人) 説明・実技
10:40~10:50	10分	休憩
10:50~11:45	55分	AED 説明・実技
11:45~12:00	15分	異物除去法
12:00~13:00	60分	昼食・休憩
13:00~13:10	10分	止血法
13:10~13:35	25分	心肺蘇生法(小児、乳児、二人法) 説明・実技
13:35~13:50	15分	傷病者管理法(衣服のゆるめかた、保温、体位管理) 説明と実技
13:50~14:20	30分	首のけが、溺水、熱傷、熱中症に対する応急手当 説明
14:20~14:30	10分	休憩
14:30~15:00	30分	包帯法(三角巾) 説明・展示・実技
15:00~15:30	30分	骨折に対する応急手当 展示・実技
15:30~16:05	35分	搬送法(担架搬送法、徒手搬送法) 説明・展示・実技
16:05~16:15	10分	休憩
16:15~16:40	25分	心肺蘇生法(成人) 実技の復習
16:40~17:20	40分	効果確認(実技)
17:20~17:50	30分	筆記試験(10分)・解説(20分)
17:50~18:00	10分	質疑応答・修了証交付・講評

